

令和6年度のインターンシップを終えて

「教務担当」

本校は2年制課程の公務員総合学科と1年制課程の公務員学科があり、公務員試験の合格を目指す公務員専門学校です。知識や教養を教授するとともに良識ある社会人として必要な資質を養い、国家や地域社会の発展に貢献できる心豊かなスペシャリストの育成を目指しています。そのために座学だけでなくインターンシップやボランティア活動に参加し、人間力の向上に努めています。公務員総合学科では必修科目に「インターンシップ・ボランティア実習」を開講しています。在籍する学生全員が1年生の夏休み（8月）の期間中にインターンシップおよびボランティア活動に参加します。インターンシップの事前指導では、インターンシップ先を考える上でなぜその職場を希望するのか、どのような仕事に取り組みたいか、という目的を明確にさせました。具体的な仕事内容や部署のことがよく分からないので業務内容を深め将来の選択の幅を広げるために希望した学生が前年より増加しました。目的を明確にすることにより推進協議会を通しての希望者17名全員のマッチング成立につながったと考えています。インターンシップ後の報告書や面談を行う中で、学生の満足度が高いものであると分かりました。8月の最終週には台風により本来の日程をこなすことなく終わってしまった学生も何名かおりましたが、全員が最後まで実習を行いたかったと漏らしておりました。本校は官公署での体験をした学生が多く、公務員の仕事（行政職）はPCを使ったデスクワークがほとんどであると考えていた学生もいましたが、公共交通機関の实地調査や公的施設の視察などを体験させていただく中で、幅広い業務があると感じたようです。それまでは漠然としか分かっていなかった業務内容について理解を深めることができました。また、民間企業と官公署が協力してイベントや事業を行っているものが多くあると知り、官民一体となって地域を支えていることを体感した学生もいました。そして職員や地域住民の方と積極的にコミュニケーションをとり、仕事に対する思いや考え方を学ぶことができた様子が伺えます。教室内では学生同士で情報交換をする姿も多くみられました。昼休みや休憩時間の中で、どのような業務に参加したか、自分が思い描いていたものとギャップはなかったかなど、活発に意見を交わしていました。中には、職員の方から「何か自己啓発していることはある?」、「専門学校へ進学して何かボランティアに参加した経験はある?」など、尋ねられたことを共有することで、今後の学生生活で意識して取り組むべき課題を見つけることができた様です。まだまだ経験に乏しいことを身で感じてもらえたことが大きな学びになります。受験を控える学生たちにとって座学で学ぶだけでなく、実際に体験して現場の空気を吸うことができたことは、モチベーションの向上にも繋がり、より意欲をもって学校生活を送れるものと感じています。

最後になりますが、学生のためにインターンシップを実施していただきました自治体や企業・団体、ならびに山口県インターンシップ推進協議会の皆様、誠にありがとうございました。台風が近づいていることに対しては、学生の身の安全を第一に考えていただき、感謝しかございません。今年度は本学生においては全員が希望をする自治体に参加することができました。学生にとってとても有意義で貴重な体験となりました。次年度以降も継続して行いたいと考えていますので今後ともよろしくお願いいたします。